

SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE

県央・宇都宮版

特例認定NPOに

乳がん検診率5割目指す

ピンクリボンうつのみや

【宇都宮】NPO法人「ピンクリボンうつのみや」は17日までに、税制上の優遇措置が認められる特例認定NPO法人に認定された。乳がん検診受診率の向上を目的に2014年7月に発足し、3年間の活動が評価された。今後は受診の積極的な働き掛けを強め、県内12番目の認定NPO法人を目指す。

3年間の活動に評価

ピンクリボンうつのみやは医師ら正会員16人で構成し、準会員は延べ約60社の企業が名を連ねる。「全国初 乳がん検診受診率50%の達成」を目標に掲げ、乳がんの知識の充実や検診の必要性を訴える「ピンクリボンセミナー」を毎年開いている。イベントでのブリス出展などによる啓発にも取り組んでいる。

一方、国内の乳がん罹患率は11人に1人の割合だが、県内の検診受診率は30%強、市内も20%前後でピンクリボンうつのみやの設立以来大きな変化はない。佐藤俊彦理事長(57)は「目立った数字がついてこないことが悔しい」と話す。

特例認定NPO法人は設立5年以内のNPO法人で事業活動などが一定基準に適合すると認められる。個人が寄付した場合に寄付金

控除を受けられたり、法人が寄付した場合は損金に算入できる金額が拡大されたりするなどの優遇措置があり、活動資金が集めやすくなる。

今後、力を入れるのは1回目の検診受診のハードルを下げることで。検診バスをイベントに派遣するなど、より積極的に受診を促していく。佐藤理事長は「遺伝性乳がんに対する遺伝子検査の重要性や最新の治療法なども広く知ってもらいたい」と強調している。



「早期発見、早期治療の重要性を改めて知ってほしい」と話す佐藤理事長